

令和7年度 第2回一ノ宮小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年7月3日（木）19:00～20:10

2 場 所 第2職員室（会議室）

3 委員長あいさつ

- ・登下校時、こどもから「いつもありがとうございます」の声を聞くとうれしい。

4 学校の教育活動の様子（一学期の様子、夏休みの生活）について（学校より）

- ・運動会では、できることに精一杯がんばるこどもの姿が見られた。
→朝礼台を修理した方がよい。
- ・6月は落ち着いて勉強にとりくんでいる。
- ・1、2年生は水泳が始まった。天気も良く予定通り実施できている。
- ・6月後半は暑さのため運動や外遊びができなくなっている。
- ・学校外では公園の使い方がよくない。遊具の使い方、ごみ、けんかなど地域から連絡をもらうことがあった。指導をし、自治会長にも連絡をして共有した。
- ・夏休みはサマースクールや登校日を設けている。市のこども議会に6年から1名参加予定である。

5 グループ討議「子どもの安全について～登下校・夏休み・災害時～」

○Aグループ

- ・登下校で遅れた時間に一人で歩いている子がいる。
- ・不審者について、こどもが敏感になっている。よいことだが声をかけるのをためらうことがある。しかし、旗をもっていることで、自分たちを見守ってくれている人と分かり声をかけるこどもが増えてきた。
- ・車も、旗をもっているとスピードを落とすようになってきた。

○Bグループ

- ・池田地区に置いてある瓦を割っていく子がいるので注意している。声をかけていける地域になっていきたい。
- ・不審者が出て、市や警察がパトロールをした。地域でも話題になった。
- ・池田の小さな川で遊んでいる子がいた。これぐらいの川もダメなのかと思った。今のこどもたちはどこで遊べばよいのだろう。

○Cグループ

- ・夏休みは川遊び、夜遊び、夏祭りなどこどもにとって危険でもある時期である。親の目が行き届かなくならないようにしなくてはいけない。
- ・残念なことだが、全国的に教師の不祥事が続いている。こどもの安全を守るためにも、教師自身の倫理観が問われている。
- ・ゴミが増えると治安が悪くなる。学校も地域もきれいにしていきたい。

全体交流

- 夏休みは非日常でいろんな問題があると感じた。親は仕事で一人で過ごす子もあり、目が届きにくい。
- 高岡台のロータリーは大人のけんかが多い。ゴミも多く環境がよくない。
- 不審者対応として以前作った「おはよう帽子」などかぶっているとこどもと声を掛け合うきっかけとなる。また地域の夏祭りなどがつながりのきっかけとなるとよい。
- 地域での小さな出来事をどこまで学校に連絡をするか迷う。いたずらがあったらその場で声をかけている。
- こどもの安全を守るために地域の力を借りたい。
- 一部の子がしたこと、一ノ宮小が悪く言われるのが残念。どうやって解決していくか難しい。
- 下校時バラバラで寄り道をしている子もいて心配。
- 大人が車からゴミを捨てていく。こどもたちが真似をするなど影響がないか心配している。
- 暑い毎日だが、帽子をかぶっていない子がまだいる。日傘を差す子が増えた。

6 行事予定（事項書）

7 その他（事項書）

8 加藤アドバイザーより

昨年度から何回もグループ討議を取り入れて進めている。少人数の方が話しやすく、またテーマも設定してあるのでよかった。しかし、全体でも皆さんが活発に意見交流をできているので、グループ討議をせずに全体で行っても意見交流ができる雰囲気だと思う。

今日いただいた意見の中から、学校は次に生かせるものをピックアップして、この場で終わりにならないようするとよい。例えば旗や帽子など目印になるものをどうするか、学校運営協議会で意見を出すのも一つの方法である。

公民館長から町をきれいにという意見がでた。町が汚れていくと学校も汚れていく。難しい課題ではあるが、「きれいな町一ノ宮」などのキャッチフレーズをにかけて話し合ってもよい。

また、地域のこどもへの声掛けも広がってほしい。注意をしたり指導をしたりしてもらい、それでも注意がこどもに届かないときは学校へ連絡を入れてもらおうとよい。長い目で見て引き続き声をかけていってほしい。

不審者など安全にかかわることは学校や市へ連絡をしてほしい。